

# たまかわ

1998

9

No.385

空と緑“新、呼吸する”——広報TAMAKAWA



## 98 玉川の夏

今年の夏はくらくら……。

ついで梅雨明け宣言のなすびと立秋を過ぎても  
なりました。とんぼりとした夏の雲と雨の毎日を気分も  
滅入りました。

8月13日、玉川まつりの花火大会もあいにくの小雨  
模様。本気で曇り目を覚まして今年の夏でした。

そして、この美しい花火を見て50年の場所が、洪水  
に遭ってしまっている……。



8/26

8/30

集中  
豪雨

# 未曾有の大 水害

## 断続的な大雨が5日間 本村にも甚大な被害

8月26日の正午前から降りはじめた雨は、本村を含む福島県南部と栃木県北部を中心に大きな被害をもたらしました。本村では、27日早朝より阿武隈川が増水し、水位が上がりはじめました。特に村の西部地区では、竜崎区を中心に田畑や道路への冠水や住宅家屋などの浸水により住民生活や農作物等に大きな打撃を受けました。村では、災害対策本部を設置して被害の調査・復旧に全力をあげました。

## 上流域の大雨が影響

### 阿武隈川が氾濫

阿武隈川の氾濫は、川の上流域に当たる西白河郡西郷村などに集中的に降った豪雨が原因でした。

西郷村では、8月27日午前4時から5時までの1時間の降水量が110ミリという驚異的な雨量となりました。この雨

量は、福島県では観測史上最高雨量(1時間の雨量として)でした。27日正午には、竜崎区の阿武隈川にかかる成竜橋の水位(警戒水位4メートル50センチ)が、8メートル20センチまで上昇しました。竜崎、中、小高区の水稲や農

業用パイプハウスに河川の水が流入し、約60ヘクタールを冠水しました。また、竜崎区では住宅家屋2棟が床下浸水、1世帯が自主非難をしました。

乙字ヶ滝でも水位が上昇し、平時の美しい滝とは思われない濁った泥水が、荒れ狂った悪魔のような流れとなりました。傍らにある滝見不動の床下まで水位は上昇したため、ワイヤーロープなどで倒壊しないよう備えました。

## 8・5水害以来の被害

27日午後から水位の高さも次第に低くなって終息と思われましたが、同日午後6時から7時までの1時間に上流域の西郷村を中心に再び54ミリの集中的な豪雨となったため、翌日早朝まで水位が上昇しはじめました。更に28日午前2時から3時頃にかけて三たび上流域に強い雨が降ったことにより、28日の午前8時には成竜橋の水位が8メートル24センチまで

上昇しました。このため、農地への冠水や床下浸水などの水は引けず被害の拡大が心配されました。このように7、8時間周期で上流域に強い豪雨をもたらした影響により阿武隈川の水位は下がることなく住民を不安に陥れました。今回の水害は、昭和61年8月5日の豪雨による災害以来の大規模なものとなりました。

### ドキュメント

- ◆8月26日
  - 10時00分 雨が降り始める。夕方まで降ったり止んだりである。
  - 18時55分 県南地域に大雨洪水警報が発令される。
  - 19時00分 雷雨が強くなる。
- ◆8月27日
  - 4時00分 (阿武隈川上流域の西郷村地域に1時間に110ミリの豪雨が襲う)
  - 6時20分 消防団、村職員が警戒体制に入る。
  - 7時00分 玉川村災害対策本部・水防本部を設置する。
  - 防災無線により村民に浸水の注意を呼びかける。
  - 8時00分 成竜橋の水位が6・80メートルとなる。
  - 8時40分 成竜橋の水位が7・20メートルとなる。
  - 9時30分 竜崎地区の村道1-9号線が冠水し通行止となる。
  - 滝見不動に床下近くまで水位が上がってきた。竜崎・中地区の田畑に河川の水が浸水してきた。
  - 10時15分 消防団川辺分団から川野目橋の桁下50センチまで水位が上昇しているとの報告が入る。
  - 11時00分 雨脚が強くなる。
  - 11時30分 成竜橋の水位が8・10メートルとなる。
  - 12時30分 成竜橋の水位が8・20

- メートルとなる。被害の第1報が入る。農地の冠水面積は、40ヘクタール。床下浸水家屋1棟、非難1世帯との報告。消防団長が防災無線で村内全消防団員に出勤を呼びかけ、地元地区の警戒にあたらせる。
- 13時00分 この日一番の強い雨となる。しかし、上流域が安定しているため河川の水位は徐々に下がってきた。
- 17時20分 被害状況を県に報告する。農地の冠水面積60ヘクタール。床下浸水2棟、自主非難1世帯、村道通行止5ヶ所である。
- 18時00分 (阿武隈川上流域の西郷村地域で1時間に54ミリの豪雨となる)
- 20時20分 成竜橋の水位が7・46メートルまで下がる。
- 23時00分 成竜橋の水位が再び上昇して8・05メートルとなる。

### 8月28日

- 0時00分 成竜橋の水位8・22メートルとなる。その後、一旦は水位が下がり始める。
- 3時00分 被害報告で、軽傷者1名を県に報告する。
- 5時00分 三たび水位が上昇。
- 7時00分 成竜橋の水位8・26メートルを記録。
- 10時30分 成竜橋の水位7・45メートル。水位の低下が顕著となってきた。

次ページへつづく



中地区の水害(原中学校から)



橋の桁まで水位が上昇している川野目橋(川辺地区)



竜崎地区の田畑への冠水(鏡石町成田上空から。左下は成竜橋)



滝見不動床下浸水



# 止まない無情の雨

## 総雨量402.5ミリを記録

28日の夕方には阿武隈川の水位も下がって小康状態となりました。しかし、今回の雨は無情にも再び本村を襲いはじめました。翌29日に再び大雨洪水警報が発令されると、まだ完全に水位の下がっていない阿武隈川は、急速に増水しはじめました。さらに、降り続く雨の影響で村内の地盤はかなり緩んできていました。

29日の午後からは村内の各地区で浸水、土砂崩れなどの被害が多発し、家屋半壊や道路を寸断する災害が起きはじめました。

26日の正午から31日朝まで降り続いた本村の総雨量は、402.5ミリに達しました。本村の年間平均降水量が、1,200ミリ前後なので、5日間で約4カ月分の雨が降ったことになりました。

裏山の土手崩れや床下浸水などにより、生命の危機に瀕した世帯には、災害対策本部が避難勧告を行いました。夜になっても雨の勢いは衰えることなく、翌30日も一日中、雨は降り続き、村内のいたる所に被害は拡大してゆきました。



### 土砂崩れ

土砂は、立木をなぎ倒して、道路を分断してしまいました(岩法寺地区の村道)

### 恐怖の地滑り

南須釜字小半弓地区の民家の前庭が流されてしまいました。自然の力は恐ろしい



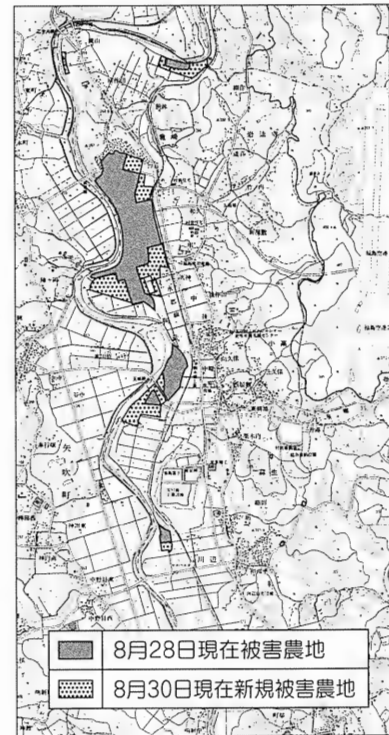
### 道路寸断

北須釜字雀森地内の村道は、スタスタに引き裂かれてしまいました

# 被害総額は5億2千万円

## 道路、河川、農作物などに被害

水害による被害について、役場農政課と建設課、教育委員会がまとめたところ、農林業関係の被害額が約1億5,800万円、土木関係の被害額が約2億9,200万円、教育施設関係が約7,000万円となりました。農林業関係は、農業ハウス暖房施設が600万円、水稲や野菜、花卉などの農作物被害が7,700万円、農地及び農道などが7,500万円となりました。土木関係は、被害箇所が村内全域で84箇所となりました。道路が75箇所、2億4,850万円、河川が9箇所、4,350万円となりました。教育施設では、須釜小、玉一小、泉中で法面が崩れた被害額が総額で7,010万円となりました。



### 土木関係

	被害箇所	被害額(千円)
道路	75	248,500
河川	9	43,500

### 農林業関係

	被害面積及び箇所	被害額(千円)
農地(箇所)	18	17,000
農業用施設(箇所)	12	58,000
農作物(トン)	100.4	77,000
農業関係用施設(箇所)	5	6,000

### 教育施設関係

	被害箇所	被害額(千円)
法面崩れ	3	70,100

## 村民体育祭は中止

村では10月4日(日)に開催を予定していましたが第38回玉川村民体育祭を中止することに決めました。今回の大雨による被害が大きいため、村では各行政区長など関係者に意見を聞きながら開催について検討しました。

た。

本村にとって経験のない大災害になったことから、村民の気持ちを考慮し、また、体育祭に係る予定の経費を災害復旧に当てることとして本年の開催を中止としました。



↑農地や農業用パイプハウスに浸水(竜崎地区)

←法面が崩れ落ち、シートで覆う(須釜小学校)

- 11時30分 成竜橋の水位7.10メートル。農地の冠水箇所からまだいぶ水が引けてきた。
- 13時00分 被害状況を県に報告する。農地の冠水面積60ヘクタール、床下浸水家屋3棟、自主非難1世帯、村道通行止5ヶ所、軽傷者1名である。
- 14時40分 大雨警報だけが解除となる。洪水警報は引き続き継続される。
- ◆ 8月29日
  - 14時40分 再び県内全域に大雨警報が発令される。
  - 16時00分 村内各地から本部に土砂崩れなどの災害情報が頻繁に入る。
  - 17時30分 本部では村民に対して防災無線により自宅の周辺を点検して、危険な場合は、避難するよう周知する。
  - 17時30分 中地区など6地区、9世帯に避難勧告をする。
  - 18時25分 竜崎地区の村道1-9号線が再び冠水し通行止となる。災害情報が、電話や無線により本部に次々と入ってくる。
  - 22時00分 成竜橋の水位は、7.50メートル。
  - ◆ 8月30日
    - 0時30分 成竜橋の水位は、7.70メートル。
    - 7時15分 成竜橋の水位は、8.30メートルまで上昇。
    - 8時30分 本部で調査班6班を編成して村内の被害状況を調査する。
    - 9時00分 川辺の川野目橋が危険な状態になり通行止となる。
    - 12時00分 成竜橋の水位は、8.75メートルとなり、今回の豪雨で、最高水位を記録。
    - 14時45分 川が増水しており非常に危険な状態となったため「川に近寄らない」旨を防災無線で放送。
    - 15時30分 成竜橋の水位は、8.60メートルと少し下がった。
    - 16時00分 雨が小降りとなってきたが、台風4号が今夜から明日にかけて上陸する予報となっており、本部に緊張感が張り詰める。
    - 17時00分 成竜橋の水位は、7.60メートルと次第に下がってきた。上流域の雨量は少なくなっている。
    - 21時00分 被害状況を県へ報告。農地の冠水100ヘクタール、道路規制箇所25箇所、水道断水17戸、床上浸水3棟、非住居床上浸水10棟、避難世帯9世帯。
  - ◆ 8月31日
    - 1時30分 気象情報では台風4号が北上しており、大雨が降りやすい状態とのこと。
    - 4時30分 台風4号が東に向きを変えて、本県への直接的な影響が回避された。



「パラグライダーを  
やりたかった」  
十勝ネイチャーセンター  
での体験  
小針 太一君  
(泉中2年)

僕たちは今回、2泊3日で北海道を研修してきましたが寝不足と疲労がたまってしまったような気がします。しかし、1日目の十勝ネイチャーセンターでは、とても面白く、楽しい体験ができました。ここで、乗馬やカヌー、パラグライダーをやりました。僕は、乗馬とカヌーしかやらなかったのですが、今は、パラグライダーをやりたかったなああと少し後悔しています。

僕は、初めは十勝ネイチャーセンターと聞いて、どうしても堅いイメージがありました。が、インストラクターの人達がとても面白かったので、とても楽しむことができました。カヌーをやったのですが、濡れになったりしましたが、初めて体験したことや、友達とそこで語り合えたことは一生の思い出です。



「優佳良織は自然を  
描いている」  
美術館で学んだこと  
鈴木 真 美さん  
(泉中2年)

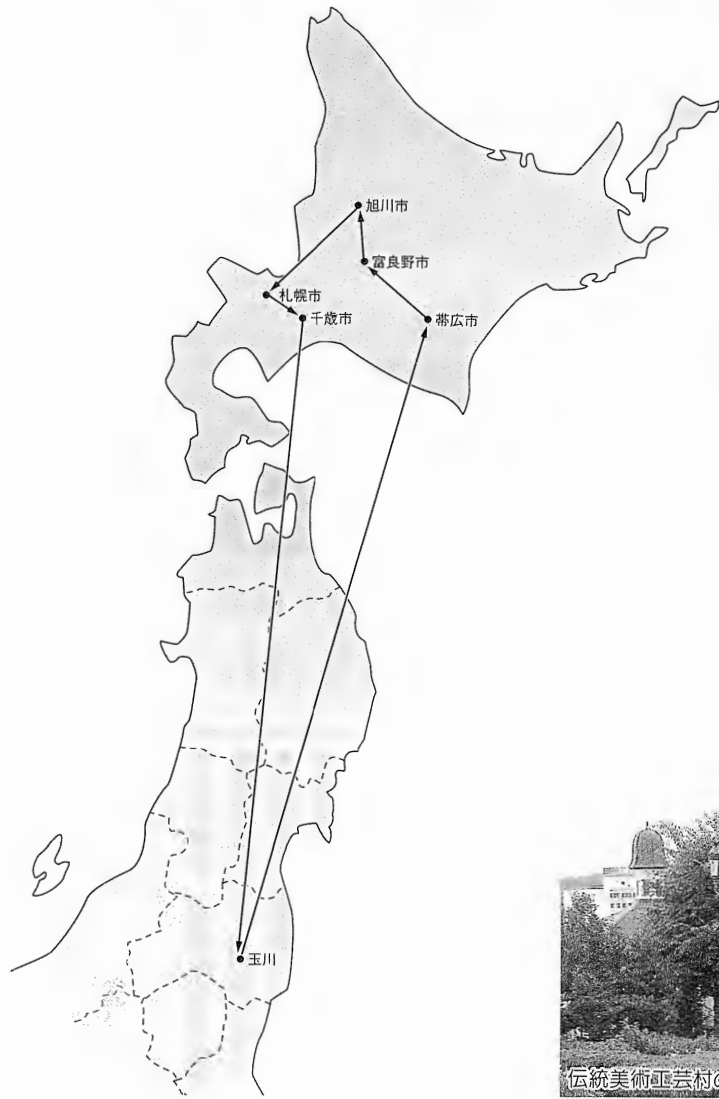
北海道の大自然の中で大勢の仲間と過ごした3日間は、素晴らしく忘れられない思い出になりました。ありがとうございました。北海道で学んだことを、これからの生活に役立てていきたいと思っています。



「海を越えて  
北海道へ」  
飛行機に乗って  
小針 五三三さん  
(須幸中2年)

私は初めて北海道に行きました。もちろん、飛行機に乗るのも初めてでした。飛行機が飛び立って、小さな窓から下を見ました。下の風景がだんだん小さくなっていきました。あっといいう間に飛行機は雲の中を通過して、雲の上に出ました。雲は、真っ白でとってもきれいでした。海を越えて、北海道が見えてきたときは、とてもうれしかったです。とっても広く、のどかな感じでした。帰りは、千歳空港でしたが、

とっても広がりました。飛行機が北海道を出発して福島に行くのだと思うと、この3日間は、あっといいう間だったと思います。帰りの雲の上は、下が見えるどころか、黒い雲でいっぱいでした。空港に着いてロビーに来たときは、どこかホッとしました。この旅行での体験は、これからの生活、将来に必ず生かされると思います。



十勝ネイチャーセンターでの乗馬体験

平成10年度のふるさと創生事業の中学生国内研修は、7月27日から29日までの2泊3日の日程で行われました。コースなどの概要については、前月号で紹介しましたが、今回は、続報として参加した生徒のレポートから研修の様子を振り返りたいと思います。



伝統美術正芸村の雪の美術館の全景

# 中学生国内研修報告(下)

## '98 思い出の北海道

### 研修レポート





### ラベンダー畑に感動 富良野の 富良野に行つて

塩沢 弘美さん  
(須釜中2年)

私は、この北海道研修旅行に行き、北海道についてからまず最初に「なんて広大な土地なんだろう」と思い、とてもビックリしました。そして、この旅行で一番心に残ったことは2日目に行った富良野です。富良野ではチーズ工房やファーム富田を見学し楽しい思い出ができました。まず、チーズ工房ではチーズのつくり方などが見られてとても勉強になりました。またアイス

ミルク工房でみんなで食べたアイスがとてもおいしかったです。それから行ったファーム富田では、広大な面積一面がラベンダー畑で、すごくきれいでとても感動しました。そしてみんなで写真を撮りつづいて楽しかったです。ここではラベンダーのいろいろな物が販売されていました。私は、この北海道研修旅行に行きいろいろなことを学び楽しい思い出がたくさんできたのでとてもいい旅行だったと思います。最後に、またいつか北海道に行つてみたいと思いました。



### テレビ塔を 間近で見れた 札幌市内自由行動

小針 広 充君  
(須釜中2年)

僕は、今回の北海道研修旅行での札幌市内の自由行動を楽しみにしていました。それはなぜかというと、テレビ塔や時計台などを見るのが楽しみだったからです。しかし、時計台は改修のため見学できず残念でした。が、テレビ塔を間近で見ることができました。テレビ塔のある大通り公園は、街の中央を一、五キロメートルにわた

って一本の広い道のように伸びた大きな公園です。そこには、たくさん花や緑があつてとてもきれいでした。地下街もあり、そこに入つてみるいろいろなお店がありました。自由行動の時間が3時間ほどしかありませんでしたが、いろいろなものを見たりすることができてとてもよかったですと思います。この貴重な体験を忘れず、今後機会があれば、もう一度行つてみたいと思います。



### 千歳空港の 大きさにびっくり 初めての飛行機体験

鈴木 道 裕君  
(泉中2年)

僕は今回北海道研修旅行に行き、特に心に残ったのは、

飛行機に乗ったことです。僕は飛行機に乗るのが初めてで前の日からずっと楽しみにしていました。特に、離陸の時はとても緊張しました。飛行機が陸から空へ飛び上がり自分が今、空にいるということを実感しました。空の上から見る玉川村はとても小さく見え、村全体がほとんど小さくなるのもわかりました。また、日ごろ見上げている雲を空から見下ろすこともできその美しさにとっても感動しました。

そのほか機内のコックピットの見学もできました。コックピット内には、たくさんボタン、レバーなどがあり、コックピットから見る空の風景もとても美しかったです。そして、3日間の楽しい研修も終わり、千歳空港に着きました。ここでは、何より空港の大きさにびっくりしました。空港でのフリータイムで、空港内を見て回りましたが、広くて回りきれませんでした。最後に、この3日間の研修を通して新しい世界にふれることができた本当に良かったです。

# 玉川夏まつり

## 天気は悪いが気分は最高

玉川の夏、恒例の第10回玉川夏まつりは、8月13日正午から役場南駐車を会場に行われました。あいにくの小雨模様の中、例年どおりヤキトリ、焼きイカなどの模擬店や農産物などの販売店が軒

を並べました。会場南側にはステージが造られて村内の民謡愛好団体による踊りや唄が披露されました。また、豪華商品を揃えた『ウルトラクイズ』や『カラオケ大会』が行われ悪天候を吹き飛ばす熱気で覆われていました。

手、菊地章夫さん(元阿呆鳥のメンバー)の豪華ステージが行われ、名曲『物語』などが熱唱されるとオールドファンなどが押し寄せ人垣ができていました。

## 夜空を焦がす 花火大会

午後7時からは、阿武隈川河畔で玉川花火大会が行われました。



夕闇迫る頃になると石川町在住の歌

夏の夜にはやや涼しい気候でしたが、スターマインや尺玉が打ち上げられると川面に



アンコールのうちに再び「物語」を熱唱する菊地さん



模擬店はお客さんでいっぱい



会場の役場南側駐車場には、小雨にもかかわらず沢山の人が賑わいました





空港観光果樹園の直売所で説明を受けるエージェントの皆さん

**北海道地区旅行 エージェントが来村** 8/6

村観光を研修  
県主催による観光資源の現地研修会が本村で行われました。当事業は、福島空港就航先観光誘致促進事業のひとつで本県の観光資源について理解を深めてもらうことを目的としています。

今回の研修会は、北海道地区の旅行エージェントを対象に「くだもの王国福島」の「もも狩り」と体験施設」をテーマに行われ、空港から最も近い「空港観光果樹園」を研修しました。

**道の日 道路の美化作業を実施** 8/10

8月10日は「道の日」。同日は、県内一斉に道路の清掃美化運動が実施されました。

本村では、老人クラブ連合会など250名の皆さんのボランティアにより、村内の国道、県道と主要村道など11箇所の空き缶拾いが行われました。



県道福島空港線作業するボランティア

**愛の献血を ありがとう**

7月17日の献血者は、次の60名でした。あなたの愛に感謝いたします。

**(献血場所と献血者数)** (敬称略)

◆日本精密加工(有)  
浅倉竹三・味戸勇雄・上野光子・太田 真・面川直美・小山田志津子・車田 伸・小針幸子・斉藤浩正・佐々木洋子・須釜美恵子・鈴木三千

7月17日の献血者は、次の60名でした。あなたの愛に感謝いたします。

**(献血場所と献血者数)** (敬称略)

◆日本精密加工(有)  
浅倉竹三・味戸勇雄・上野光子・太田 真・面川直美・小山田志津子・車田 伸・小針幸子・斉藤浩正・佐々木洋子・須釜美恵子・鈴木三千



**玉川会会員の石黒さん** 7/30

寄席を楽しんでください  
東京玉川会会員の石黒敏子さん(新宿区在住・小高出身)は、ふれあいセンターを利用していらっしゃる皆さんに寄席を楽しんで貰おうと、落語のビデオテープと浪曲のカセットテープを村社会福祉協議会に贈りました。春風亭柳昇師匠の落語や広沢虎造師匠の浪曲を利用者の皆さんは大いに楽しんでいきます。

**第43回たなばた展 銀河賞に3名入賞** 8/7

第43回福島県学生書道コンクール「たなばた展」で、丹内陽香さん(川辺小3年)と近内沙弥香さん(須釜小6年)、大和田里香さん(四辻分校2年)の3名が見事銀河賞に輝きました。

滝口政義・滝田徳美・根本明美・福土信子・根本修一・武藤倫康・村上和則・渡辺幸雄  
◆駒木根工業(株)  
熊田里美・小林和良・関根次豊・南條玲子  
◆(株)片山ゴム  
阿部光吉・荒牧勇二・石森金弘・遠藤達也・遠藤弘美・菅野幸二・草野寿治・鈴木繁一・矢吹富士子・藁萱秀和  
◆(株)玉川畜産センター  
阿部金四郎・石森タキヨ・石森三男・石森代志子・佐久間昇・須田正行・宗形菊男  
◆玉川村役場前  
大越健一・大和田スミ・草野義房・小原幸春・小針敬子・小針達夫・小針善栄・塩沢美代子・塩田 敦・鈴木一夫・添田春子・円谷さとみ・永林しのぶ・仁井田健・曲山博貴・増子貞美・増子広行・森博・矢吹美佐江  
今回72名の皆さんにお申込いただきましたが、比重が不十分であったり、医師問診等で採血できない方もいました。体調を崩さないようお身体には十分気をつけて次回10月29日(木)の献血にご協力ください。



対守山中戦で泉中Aチームの攻撃(白沢村グリーン球場にて)

**泉中A準々決勝で敗退** 8/11

第21回県少年野球選手権の県大会に出場した泉中Aチームは、初戦の守山中(郡山市)に2対1で勝ちベスト8に進出しました。準々決勝戦は、さきの中体連県大会で優勝している平三中(いわき市)との対戦となりましたが、惜しくも敗れてしまいました。

**トピックス IN たまかわ**

—みなさんからの話題をおまちしています—  
役場総務課広報広聴係まで



初優勝の村議会チームのメンバー

**村議会チーム初優勝** 8/23

第25回玉川村役職員ソフトボール大会は、村民グラウンドで各役職員8チームが出場して行われました。熱戦の結果、村議会チームが初優勝、消防団幹部チームが準優勝を飾りました。



準優勝した小高バレー愛好会のメンバー

**小高バレー愛好会が準優勝** 8/30

県民スポーツ県中大会  
福島県総合体育大会県民スポーツ大会の県中地域大会が平田村の勤労者体育センターで行われ、家庭バレーボール競技に石川郡代表の小高バレーボール愛好会と北須釜チームが出場しました。

当日は、集中豪雨の真只中で棄権したチームもあり、会場に到着するだけでも大変な状況での試合でしたが、巧みなチームプレーで小高バレー愛好会が見事準優勝、北須釜チームが3位入賞を飾りました。



ユニークな作品が揃いました

**私のアイデア 貯金箱コンクール** 9/2

須釜郵便局主催の須釜小学校児童を対象にした私のアイデア貯金箱コンクールが行われました。

1年生から6年生まで100点の作品が出品されました。優秀賞受賞者は次のとおり。(優秀賞)

1年生～真野目翔悟、鈴木端穂、小針望美  
2年生～関根靖人、真野目美穂、円谷俊一  
3年生～大野みなみ、石森 涼、大野 智、大木友里子  
4年生～大野亜希、増子あゆみ  
5年生～石森達也、八木智恵美、大木佑子  
6年生～小針加奈、吉田直樹、宗形 翔、関根香織

**日本航空から水害見舞金** 9/3

橋本支店長が来庁

日本航空株式会社(JAL)の橋本孝三支店長は、今回の豪雨による被害に対して水害見舞金5万円を村に贈りました。



車田村長に見舞金を手渡す橋本支店長(右)



～すくすくクラブより～

# 9月10月の健康ごよみ

- 9月
  - 24日(木) 機能訓練 ..... 保  
午前10時～ ..... 要
  - 29日(火) 子宮ガン検診 ..... 須  
午前9時～9時30分 ..... 要  
子宮ガン検診 ..... 保  
午後1時30分～午後2時 ..... 要
- 10月
  - 7日(水) 母親教室 ..... 保  
午後6時15分～
  - 9日(金) 1歳6カ月児健診 ..... 保  
午後1時 ..... 要  
3～4カ月児健診 ..... 保  
午後1時30分 ..... 要
  - 14日(水) 股関節脱臼検診 ..... 旧石  
午後1時30分～午後2時 ..... 要
  - 17日(土) 機能訓練 ..... 須  
午前10時～ ..... 要

保:保健センター 須:須釜公民館  
旧石:旧石川保健所 要:受付時間

## 伝言板

### 国民健康保険証の更新

#### 10月から新しい保険証です

国民健康保険証の更新を次の日程により行います。現在もっている保険証と印鑑を持参のうえ忘れずに更新してください。お問い合わせは役場健康福祉課国保係まで。

#### 保険証の更新日程表

月日	地区名	時間	場所
9月29日(火)	蒜生・小高・中	午前9:00～12:00	役場健康福祉課
	竜崎	午後1:30～2:30	竜崎公民館
	岩法寺	午後3:00～4:00	岩法寺地区農業構造改善センター
	川辺	午後4:30～5:30	川辺公民館
9月30日(水)	南須釜・北須釜	午前9:00～12:00	須釜公民館
	四辻・河平 大井沢・青井沢	午後1:30～2:30	四辻農業研修所
	山小屋・千五沢 小半弓・狸穴・滝作	午後3:00～4:00	山小屋公民館
	吉	午後4:30～5:30	吉集会所

## 秋の行政相談週間

(10月11日～10月17日)



相談員 眞野目 喜正さん

秋の行政相談週間に相談員が臨時相談所を開設します。お気軽にご来所ください。

- ◆月日 10月14日(水)
- ◆場所及び時間 役場北庁舎 (9時～12時)
- ◆須釜公民館 (13時30分～16時)

### 介護保険制度に向けて 高齢者基礎調査を実施

平成12年度から導入されます介護保険制度に向けて、村内に居住する65歳以上の方を対象として次の調査を行っております。

- ① 高齢者の生活の状況
- ② 高齢者の保健福祉サービスの今後の利用意向

なお、この調査に当たっては、地区の民生委員が、9月1日～30日までの期間に調査票を配布及び回収に伺いますので、ありのままに回答されるようご協力ください。

(村健康福祉課福祉係)

## 屋外広告物は県の許可が必要

都市計画区域や道路沿いに屋外広告物を掲出する場合は、一部例外を除いて県の許可を必要とします。

許可やその他屋外広告物に関することは、石川土木事務所(☎26—2138)にお問い合わせください。



## 児童扶養手当制度が改正 父に認知されても支給対象

児童扶養手当は、父と生計を同じくしていない児童が育てられている家庭の生活の安定と自立を助けるために、児童の母や母にかわってその児童を養育している人に支給される手当です。

これまで、「母が婚姻によらないで生まれた児童」の場合、父に認知されると支給対象外とされていましたが、本年8月1日から父に認知されても支給対象となりました。

また、支給には所得制限がありますが、所得限度額も8月から変更となります。

なお、詳しいことは村健康福祉課福祉係(☎57—4623)までお問い合わせください。



### 歌愁短歌会玉川支部詠草集

早く退院して歌会に出て欲しいと励ましてくれし友に涙す  
山鳩のつがい今朝も庭に来て小枝を拾う葉作りならむ  
北温泉を土砂に埋めし災害はいまも臉を染めて離れず  
柿若葉、草のみどりを反照に燃ゆるが如しつじの花は  
白詰草のひゅんと伸びるその下に四葉摘みたり幸せ賭けて  
親猫はどこまでも子らを隠しつつ捨てられぬように気を配りいる

村公民館

小針 登里  
真弓 はん  
小針 守次  
溝井はなよ  
小針 愛子  
曲山さくみ

## 寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 記
- 小高の矢吹勝信さん
  - 南須釜の小原金久さん
  - 小高の車田久七さん
  - 川辺の佐藤清晴さん
  - 吉の須釜勝美さん
  - 川辺の白旗正弘さん
  - 川辺の根本善勇さん
  - 須釜釜の大木義雄さん
  - 蒜生の溝井松雄さん
- (村社会福祉協議会)

## 村のようす

(10年9月1日現在)

- 1,776戸(+6)
- 7,638人(-4)
- 3,741人(+4)
- 3,897人(-8)

## お誕生おめでとうございます

(8月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
中	高林 浅 弥	浅 輝
岩法寺	大竹 唯 衣	進 一
竜崎	石井 寛 希	清 信

## おくやみ申し上げます

(8月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
川 辺	佐藤 文雄	77	清 重
〃	白旗 ミカ	87	正 弘
〃	根本 マスエ	62	善 勇
蒜 生	溝井 貞男	92	松 雄
小 高	矢吹 ハルノ	79	勝 信
竜 崎	中橋 クラ	65	榮 一
南 須 釜	大木 弥一	83	義 雄
〃	小原 チヨ	83	金 久
吉	須釜 勝太郎	91	勝 久

## 今月の納税

国民健康保険税 第3期  
国民年金保険料 9月分

【納期限は9月25日(金)です。忘れずに納めましょう。】

### 住宅・土地統計調査

平成10年

住宅・土地統計調査は、統計法に基づいて行われる基本的かつ重要な統計調査です。全国で約400万世帯が対象となる大規模な調査です。

本村では、小高・南須釜・北須釜地区を対象に80世帯を対象に10月1日現在で調査を行います。なお、次の調査員がお伺いしますのでご協力をお願いします。

(調査員)

- 小高地区 西川美枝子さん
- 南須釜地区 大木 吉邦さん
- 北須釜地区 草野今朝夫さん

### ふるさと自慢祭

夢コロンスス18

県中地区(郡山市、須賀川市、岩瀬郡、石川郡、田村郡)18市町村自慢の産品・伝統芸能を一同に集めたふるさと自慢祭が、開催されます。

日時: 9月26日(土)・27日(日)  
午前10時～午後4時30分

会場: 郡山総合体育館(駐車場あり)

内容: ふるさと自慢村(特産品、工芸品等の販売PR)、ふるさと自慢ステージ(郷土芸能等)・ふるさと自慢レストラン(郷土料理の試食、販売)・ふるさと自慢体験村(伝統工芸等の体験コーナー)・ちびっこ遊ランド(ふわふわ遊具、縁日等の遊び体験)・コロンススプレス展(県中地区の情報誌バックナンバー展示)その他にも旅行券や景品等が当たるジャンケン大会など楽しい遊びがいっぱいです。

入場料: 無料

問い合わせ: 郡山地方広域市町村圏組合  
☎(0249)24-2545



9月26日(土)・27日(日)



# 私のふるさと

— 鹿児島県東郷町 —



藤川天神臥竜梅

東郷町



小原 武夫さん  
(川辺)

私のふるさととは、鹿児島県薩摩郡東郷町というところです。

東郷町は、鹿児島県の西部に位置しており、川内川が町内を流れています。子供のころは、川内川はとても澄んだ水で、水泳や釣りなどで遊びました。また、現在もアユ釣りの人気スポットです。町には、菅原道真公を祀った藤川天神があります。学問の神様であるこの神社の境内には、地を這うような枝が見事な「臥竜梅」という国の天然記念物指定の梅の木があります。

町では梅で地域おこしを図ろうと『梅ワイン』を造っています。町の特産物は、和牛(薩摩牛)、地鳥とさつま芋です。以前は、みかんも生産していましたが、最近はいぶぶさなくなりましたね。しかし、何と言っても旨いものは、さつま焼酎とさつま揚げです。焼酎と言ったらさつま焼酎が最高ですよ。町出身の有名人では、「ヴェルディ川崎」所属でFWをしている前園真聖選手が頑張っています。

## 「方言クイズ」

仕事の後やスポーツの後などに、「てそか」と言います。この「てそか」とはどういう意味でしょうか？

※先月の答えはカモメでした。

## シリーズ 今日の食卓 ⑥

### 今月のお題は 「食物繊維は成人病予防が得意」

ちよつと前までは「食べ物のカス」。でも今は、コレステロールや有害物質を対外へ排出したり、血糖値の上昇を抑制したり、便通を良くしたりと成人病予防の大きな味方『食物繊維』。野菜、イモ類、海藻類などに豊富に含まれています。上手に組み合わせ取りましよう。

## 今月の献立

### 「さつま芋のサラダと塩こぶ煮」

(さつま芋のサラダ)

— 材料 (4人分) — 1人分134キロカロリー

- さつま芋……中1.5本(350g)
- ハム……2枚 ●ねぎ……中1本(120g)
- フレンチドレッシング……大さじ1 1/3 (ドレッシングは何でもよい)

— 作り方 —

- ①さつま芋は皮をむき2cm角に切り、水にさらし、柔らかく煮る。
- ②刻んだハムとねぎと①を加え、ドレッシングで和える。



(さつま芋の塩こぶ煮)

1人分105キロカロリー

— 材料 (4人分) —

- さつま芋……中1.5本(350g)
- 塩こぶ……10g
- だし汁……200cc、
- 酒……大さじ1 ●砂糖……大さじ1

— 作り方 —

- ①さつま芋は拍子木切りにしだし汁、酒、砂糖を加え、柔らかく煮る。
- ②①に塩こぶを加え、さっと煮る。



## 東京玉川会コーナー



### 心に残る 我がふるさと 『ふるさとは心の支え』

東京都世田谷区 眞野目 フキさん (北須釜出身・草野清正さんの伯母)



昨年の大正琴の発表会の打ち上げのとき (右から3人目が私です)

玉川村の皆様、玉川会の皆様 お元気で過ごしてはいかがでしょうか。この夏は、夏とも思えないほど寒暖の差が烈しく、立秋と同時に涼風が立ち、雨も多く冷夏と言われ稲作の方もとても心配ですね。

私は、『奥撫』の山奥で生まれ育ち、のんびりと少女時代を過ごし戦後を迎えました。昭和25年に上京、もうすぐ50年になろうとしています。何も知らない田舎娘が乳飲み子を抱えての都会暮らしに馴れるには容易ではありませんでした。八百屋へ行けば畑の隅に捨ててあるような品ばかり。かと言って買わずに帰れば台所には何もありません。ふるさとの野山が懐かしくてたまりませんでした。年月は停まることなく流れ、夢中で暮らしてきました。しかし、私

には大好きな『ふるさと』があります。子供の休みには田舎へ帰り、お墓参りをすると気持ちも落ちつき、又東京へ帰ったらがんばるぞと言う気力が湧きました。そんなことの繰り返しで今は子供3人、孫5人となり全部で13人の家族となりました。春、夏、秋、冬の年3回に分けての誕生会を開いています。私も自分の趣味を持ちたいと思いい、大正琴を8年前から始めました。3年前に師範試験に合格し、自分の教室を持ち、月2回自由ヶ丘まで教えるに行っています。これも主人の理解があればこそ続けられるものと感謝しつつ一生の生き甲斐と思っております。

最後になりましたが、玉川村の益々のご発展と皆様様の御健勝をお祈り申し上げます。